

21 飼料増産・安定供給対策

【令和7年度予算概算要求額 1,956（1,820）百万円】

＜対策のポイント＞

飼料生産基盤に立脚した持続的な畜産経営の推進に向けて、国産飼料の生産・利用拡大を図るため、**地域計画に基づく地域一体となった飼料生産の推進、青刈りとうもろこし等の生産・利用の推進、飼料生産組織の人材確保・育成等**の取組を支援します。また、飼料の安定供給を図るため、**飼料穀物の備蓄や配合飼料工場の事業再編に向けた調査、飼料輸送の効率化の実証等**の取組を支援します。

＜事業目標＞

- 飼料自給率：25%→34%〔平成30年度→令和12年度まで〕
- 畜産農家への安定的な配合飼料の供給

＜事業の内容＞

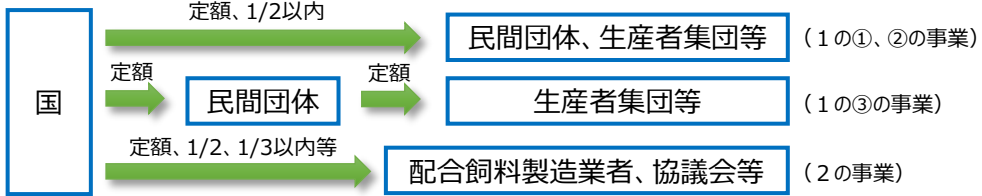
1. 国産飼料増産対策事業

- ① 飼料産地づくりの推進事業
全国推進協議会である「プラットフォーム」を構築し、シンポジウムの開催、アドバイザーの派遣等により**地域計画に基づく飼料産地づくり**を支援します。
- ② 国産飼料用とうもろこし等の生産技術実証
青刈りとうもろこしや子実用とうもろこし等の国内生産・利用を推進するための生産技術実証・普及等の取組を支援します。
- ③ 飼料生産組織の体制強化等支援事業
オペレーター確保のための**募集活動**や、**大型特殊免許**や**必要な技術資格の取得**、人材育成のための**研修**、**人員・機械の有効活用状況調査**を支援します。

2. 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

- ① 不測の事態に備え、配合飼料製造業者等が事業継続計画（BCP）に基づき実施する**飼料穀物の備蓄**や、関係者間の**連携体制の強化**、**輸入先国の多角化の検討等**の取組を支援します。
- ② **配合飼料工場の事業再編に向けた調査等**の取組を支援します。
- ③ **飼料輸送の効率化・標準化**に資する実証等の取組を支援します。

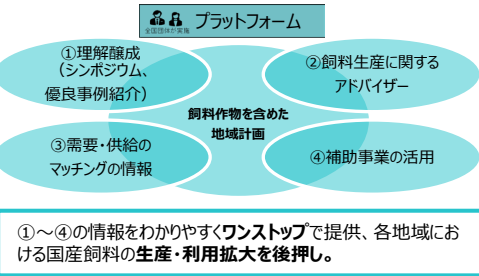
＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 国産飼料増産対策事業

① 飼料産地づくりの推進事業



② 国産飼料用とうもろこし等の生産技術実証



③ 飼料生産組織の体制強化等支援事業



2. 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

- **飼料穀物の備蓄**（1/3以内）
配合飼料製造業者等が実施する飼料穀物の備蓄の取組を支援
- **配合飼料の緊急運搬**（1/2以内、定額）
国内の災害時等に、配合飼料供給困難地域への緊急運搬を支援
- **関係者間の連携体制の強化や輸入の多角化の検討**（定額）
平時における関係者の連携体制の強化や輸入先国の多角化の取組を支援
- **配合飼料工場の事業再編に向けた調査等の取組**（定額）
事業再編に向けた検討会の開催や調査、計画策定の取組を支援
- **飼料輸送の効率化実証**（定額、1/2以内）
センサーやタンク蓋開閉装置等を用いた飼料の在庫・配送管理等の効率化実証等を支援



【お問い合わせ先】（1の事業）畜産局飼料課（03-6744-7192）
（2の事業）飼料課（03-3591-6745）